

**安全上の注意** 安全に使用していただくために下記の事項を必ずお守りください。

**室内用収納用品** 左記以外の用途には使用しないでください。

**警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品の変形のおそれがあります。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。
- お子さまがいたずらしないよう注意してください。
- 乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。

**注意** 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- 移動する際は、載せてあるものをすべておろしてください。
- この取扱説明書の組み立て手順にしたがって、正しく組み立ててください。
- フローリングの床など傷つきやすい床面での使用は、床の傷、へこみなどの原因となりますので十分注意してください。
- 必ず耐荷重以内で使用してください。
- 一点に荷重がかからないよう、できるだけ均一にものを置いてください。重いものは、下段に置いてください。
- スライド棚を引き出した状態で寄りかかるなど加重をかけないでください。
- 急に動かさないでください。スライド棚が飛び出すことがあります。
- 扉の開閉時に指などをはさまないように注意してください。
- 扉の開閉は静かに行ってください。破損の原因となります。
- 扉を強く閉めないでください。破損の原因となります。
- 腐食やかび・変形・変色の原因となりますので、以下のことに注意してください。  
 ・直射日光の当たる場所や、高温高湿になる場所に長時間置かないでください。  
 ・水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。  
 ・濡れたものや熱いものを置かないでください。  
 ・シール、テープなどを貼らないでください。
- 全体のぐらつきが多い場合は収納量を減らしてください。
- 使用しているうちにねじにゆるみが発生し、ぐらつきがありますので定期的に締め直してください。

- 天災地変や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償はいたしかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
- 接着剤に含まれる有機溶剤やホルムアルデヒドが残っていることがあります。においが気になるときは、換気をよくして使用してください。

**お手入れの方法** 長くお使いいただくために下記の事項をお守りください。

- お手入れの際に、表面を強くこすらないでください。傷む原因になります。
- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった布などで水拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

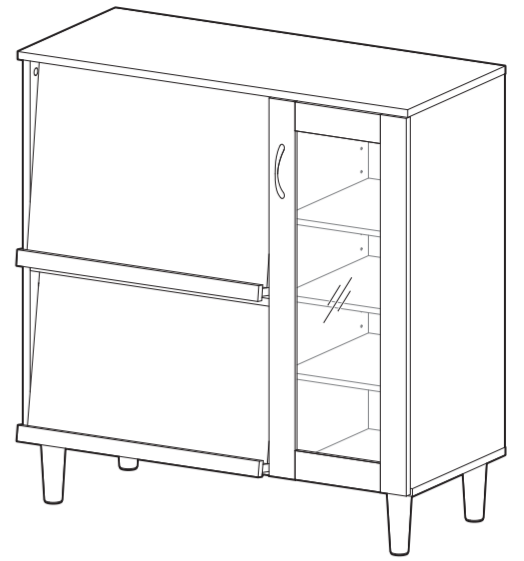
**アイリスオヤマ株式会社** 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>  
 製品に関するお問い合わせは  
**アイリスコール** (通話料無料) **0120-211-299**  
 受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00  
 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)  
 FAXでのお問い合わせは (通話料無料) **0800-888-2600**  
 Webでのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>  
 メールフォームにご記入のうえ送信してください

761454  
 220419-LFC-MEN-01

**IRIS キッチンキャビネット**  
 KBN-9390

**取扱説明書**

このたびは、当製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
 この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
 また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることが  
 できるように大切に保管してください。



**2人での組み立てをおすすめします。**

- 必要工具  
 ⊕ドライバー (サイズ: 2番)

**注意** インパクトドライバーは使用しないでください。破損するおそれがあります。

**仕様**

製品サイズ	本体: 幅900×奥行425×高さ937mm スライド棚内寸: 幅534×奥行336×高さ354mm 可動棚板 (大): 幅558×奥行320mm 可動棚板 (小): 幅290×奥行343mm
耐荷重	天板: 20kgf、フラップ (1個あたり): 1kgf、スライド棚: 10kgf 可動棚板 (大): 8kgf、可動棚板 (小) (1枚あたり): 5kgf、底板: 10kgf
積載量	全体: 65kg
主要材質	プリント化粧紙パーティクルボード、プリント化粧繊維板 (MDF)、ガラス

※耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。  
 ※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

**組み立て上の注意**

■接着部分・連結部分について

**重要** 組み立て前に必ずお読みください。必ず以下の方法を守ってください。守らないと、組み立て後の強度が著しく低下します。

**1** タボ・溝部分の接着  
 ●溝に入れる ●タボに塗る ●穴に入れる  
 接着は指示通り行ってください。

**2** 締め付けピン  
 ⊕ドライバーで垂直に締め込んでください。

**3** 締め付けドラム  
 ① 締め付けドラムを入れる  
 矢印の向きに注意して奥まで入れてください。  
 (矢印を締め付けピンの穴に向けないと、締め付けピンが入りません。)  
 ② 締め付けピンを穴に入れる  
 ③ 締め付けドラムを回す  
 ⊕ドライバーで、締め付けドラムを1/3から1/2回転 (135°~180°) 回すことにより、固定できます。  
 回すことにより、固定できます。  
 けつ場合は⊕ドライバーを使用してください。

●それぞれの作業が必要な箇所を図で示してあります。  
 ●数字は作業箇所数を示しています。

**1** タボ・溝部分の接着 (○の箇所です) ×3  
 3か所の意味

**2** 締め付けピン ×3

**3** 締め付けドラム ×3

**■本体の組み立てかた (つづき)**

**7** 側面板 (右) を取り付ける  
 表紙参照  
**1** タボ・溝部分の接着  
 側面板 (右) ×1  
 ねじ (大) ×2  
**注意** 側面板 (右) を支えながら底板に取り付けます。

**8** 背板 (右) を取り付ける  
 化粧面が内側  
 側面板 (右) ×3  
**注意** 側面板 (右) を支えて、背板 (右) を取り付けます。

**9** 底脚とフェルトシールを取り付ける  
 フェルトシール×4  
 底脚×4  
**注意** 破損を防ぐために、側面板 (右) を支えて、底脚を取り付けてください。  
 ※床が水平でない場合は、底脚を回して、ガタツキがないように調整してください。

**10** 背板 (上) を取り付ける  
 化粧面が内側  
 ねじ (大) ×3

**11** 天板を取り付ける  
 表紙参照  
**3** 締め付けドラム  
 天板 ×5  
 締め付けドラム (大) ×6  
 ※フラップ扉 (上) を半分ぐらい取り出して、背板側の締め付けドラム (大) を締め付けます。  
 ※フラップ扉 (上) を閉じて、フラップ扉 (上) 側の締め付けドラム (大) を締め付けます。

**12** 背板止め (10か所) を取り付ける  
 背板止め用ねじ×10  
 10cm 25cm 15cm 15cm 10cm 25cm

**13** ガラス扉、扉受けゴムシール、取っ手と目隠しキャップを取り付ける  
 取っ手用ねじ×2  
 取っ手  
 ガラス扉  
 目隠しキャップ×10  
 扉受けゴムシール×2

**14** スライド棚と目隠しシール (小) を取り付ける  
 スライド棚側  
 本体側  
 スライド棚  
 目隠しシール (小) ×2

**15** 可動棚板 (大、小) と目隠しシール (大) を取り付ける  
 目隠しシール (大)  
 化粧面が前  
 可動棚板 (小) ×3  
 可動棚板 (大)  
 化粧面が前  
 可動棚板用ピン×16  
 ※可動棚板は任意の位置に取り付けることができます。

**16** 転倒防止金具を取り付けて完成  
**1** 転倒防止金具×2  
 転倒防止金具 本体側用ねじ×4  
**2** 転倒防止金具 壁側用ねじ×2  
 ※壁への固定は、必ず芯材のあるしっかりとした壁板に取り付けてください。  
 トントン ポコポコ  
 壁板

**組み立て完了後、確認してください**  
 ・ねじなどがしっかり締まっていること  
 ・製品全体にゆがみやねじれ、ガタツキがないこと  
 ・底脚が全て接地していること

## 組み立てかた

●組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないように段ボールなどを敷いて行ってください。  
●設置場所の近くで組み立てることをおすすめします。

●部品は正確に取り付けてください。

### ■本体の組み立て前の準備

**1** 締め付けピン(大、小)を天板、側面板(左)と仕切板に取り付ける

表紙参照  
**2** 締め付けピン

締め付けピン(大) × 6  
締め付けピン(小) × 1

**2** 木ダボ(大)を側面板(左、右)と仕切板に取り付け、木ダボ(小)を補強板(後)に取り付ける

表紙参照  
**1** タボ・溝部分の接着

木ダボ(大) × 2  
木ダボ(小) × 2

**3** ヒンジパーツ本体側を側面板(右)に取り付ける

ヒンジ用ねじ × 4

**4** ヒンジパーツ扉側をガラス扉に取り付ける

ヒンジ用ねじ × 4

**1** 締め付けピン(大)をスライド棚正面板に取り付ける

表紙参照  
**2** 締め付けピン

締め付けピン(大) × 3

**2** 木ダボ(大)をスライド棚板に取り付ける

表紙参照  
**1** タボ・溝部分の接着

木ダボ(大) × 2

**3** 組立品を組立品に取り付ける

表紙参照  
**1** タボ・溝部分の接着  
**3** 締め付けドラム

締め付けドラム(大) × 3

### ■フラップ扉の組み立てかた

**1** 扉枠(B)を扉枠(A)に取り付ける(2組)

ねじ(小) × 3

**2** 扉枠をフラップ扉板に取り付ける

ねじ(小) × 4

**注意** 扉枠(B)の小さい穴がある側は内側です。

**3** 扉用ピンをフラップ扉板(上、下)に取り付ける

扉用ピン × 2

### ■本体の組み立てかた

**1** 補強板(前)を側面板(左)に取り付ける

ねじ(大) × 2

**2** 補強板(後)を側面板(左)に取り付ける

表紙参照  
**1** タボ・溝部分の接着  
**3** 締め付けドラム

締め付けドラム(小) × 1

**3** フラップ扉(上、下)を側面板(左)に取り付ける

**注意** 扉は本体を起こすまで破損しないようしっかり支えておいてください。

**4** 仕切板を取り付ける

ねじ(大) × 2

締め付けドラム(小) × 1

**注意** 扉は本体を起こすまで破損しないようしっかり支えておいてください。

**5** 背板(下)を取り付ける

表紙参照  
**1** タボ・溝部分の接着

化粧面が内側

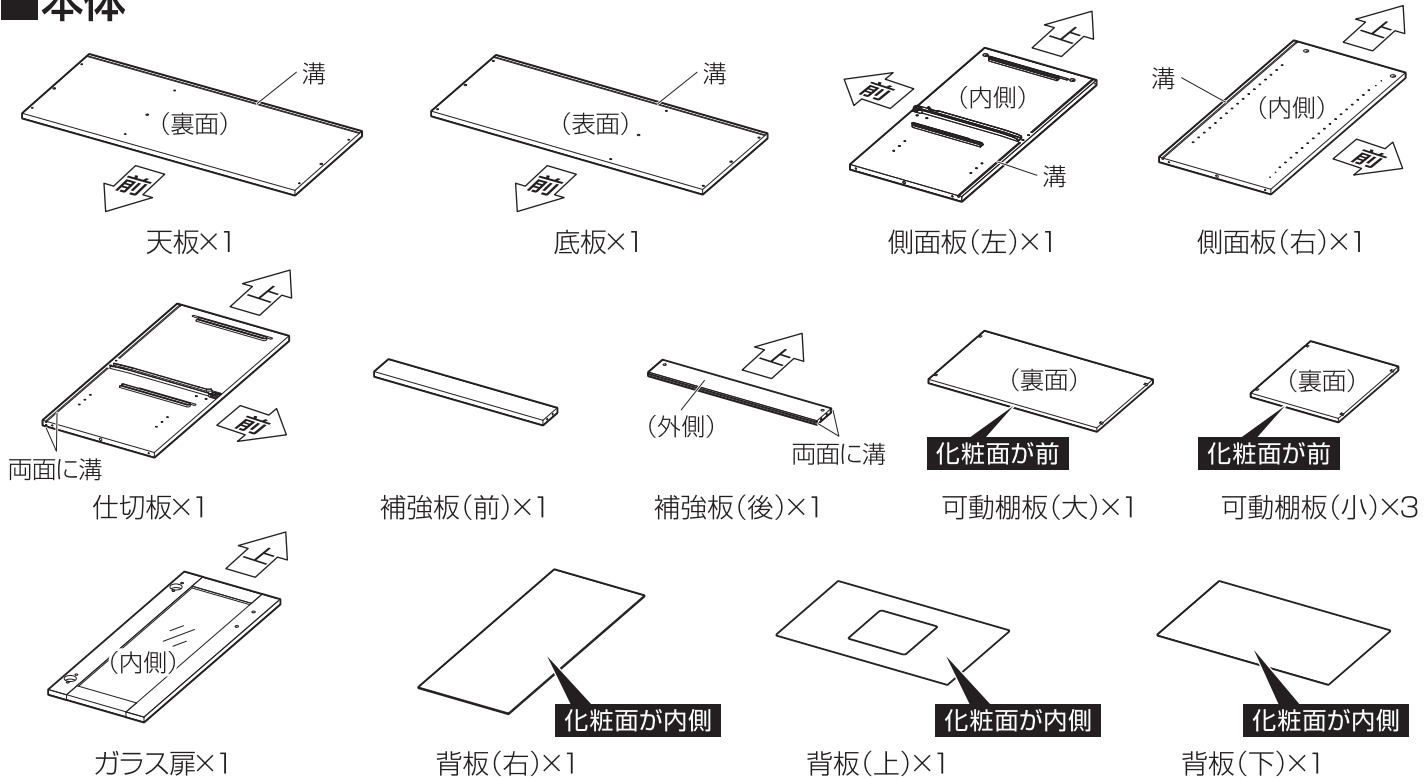
**注意** 扉は本体を起こすまで破損しないようしっかり支えておいてください。

**6** 底板を取り付ける

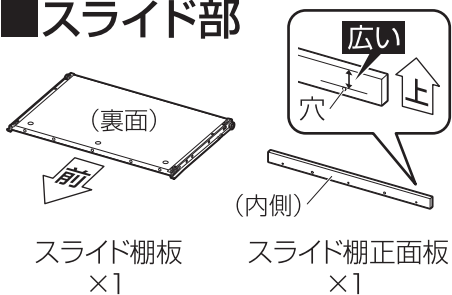
ねじ(大) × 4

# パーツリスト

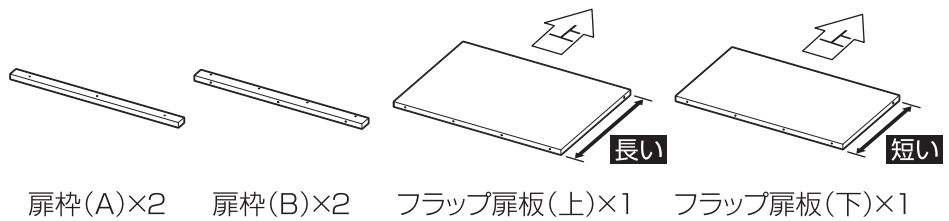
## ■本体



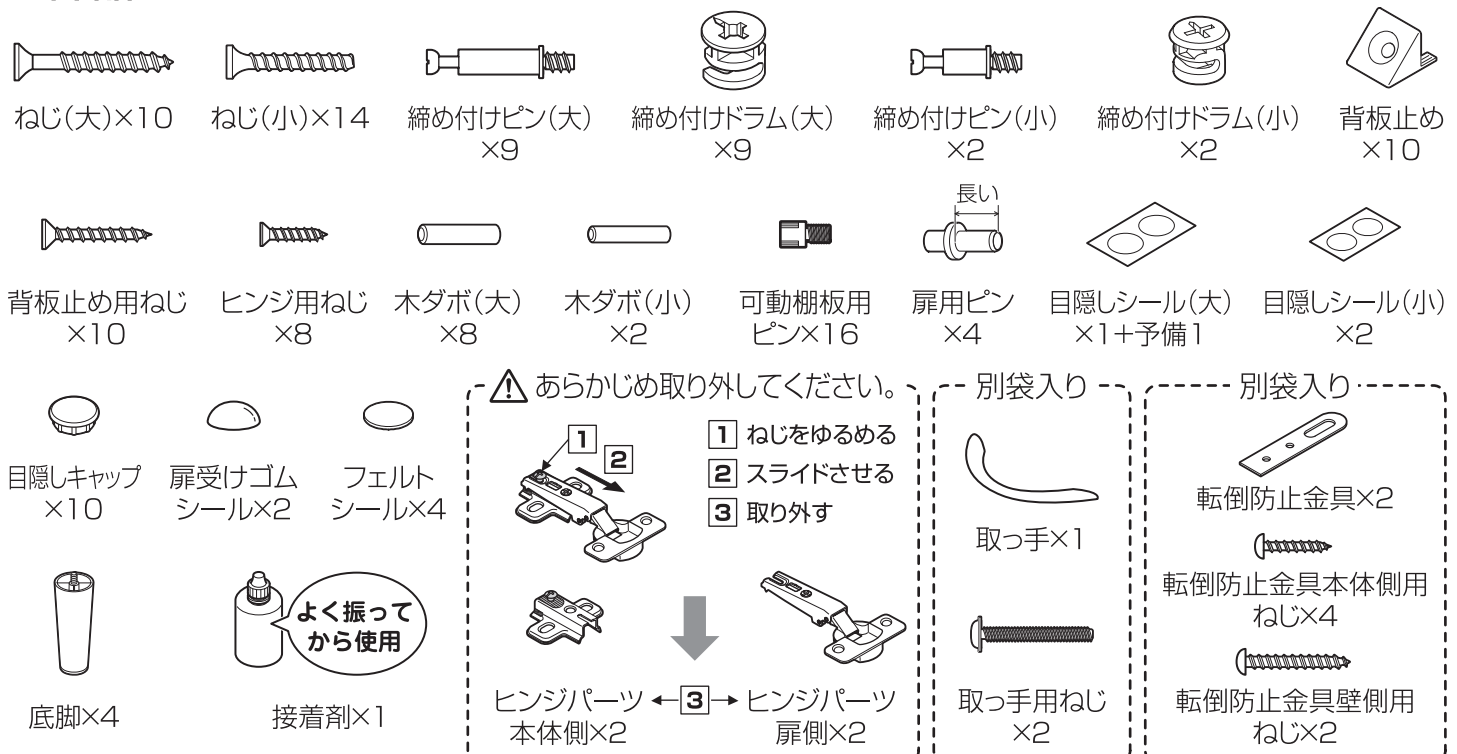
## ■スライド部



## ■フラップ扉部



## ■部品

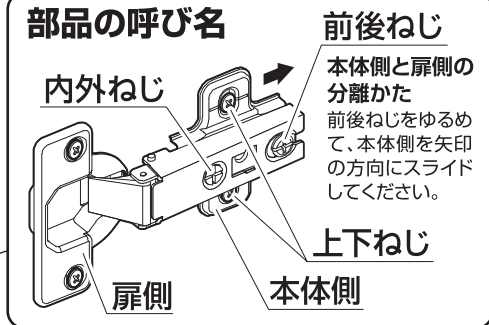


# ヒンジパーツの組み付けかたと扉の調整方法

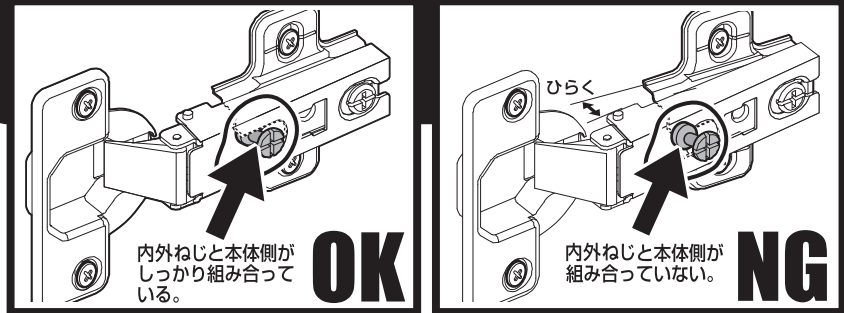
## ⚠ 注意

扉が大きく重い場合は2人以上での作業をおすすめします。  
※お手元の製品とイラストの扉、ヒンジパーツは、異なる場合があります。

※Ⓜドライバー(サイズ:2番)を用意してください。

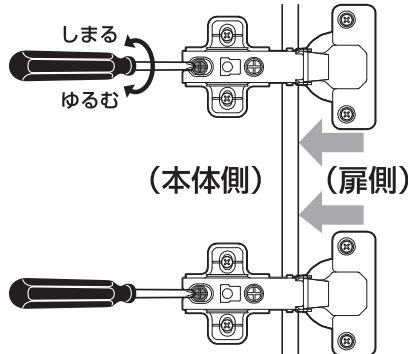
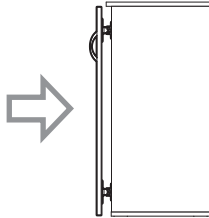


ヒンジパーツが正しく組み付けられていることを確認してください。



❗ 扉を開いた状態で作業を行ってください。

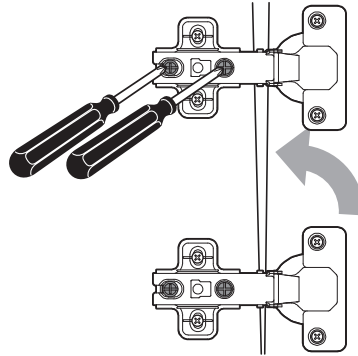
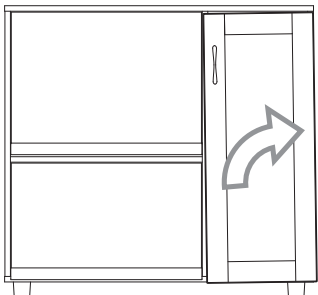
### ●扉が前に出過ぎている



### 上下のヒンジパーツを調整する

- ① 扉が落ちないように支える
- ② 前後ねじを緩める
- ③ 扉を押してすきまを調整する
- ④ 前後ねじを締める

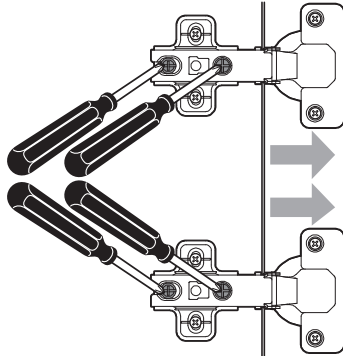
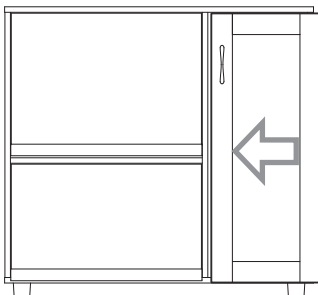
### ●扉が傾いている



### 開きが大きい方のヒンジパーツのみ調整する

- ① 前後ねじを緩める
- ② 扉が垂直になるように内外ねじを調整する
- ③ 前後ねじを締める

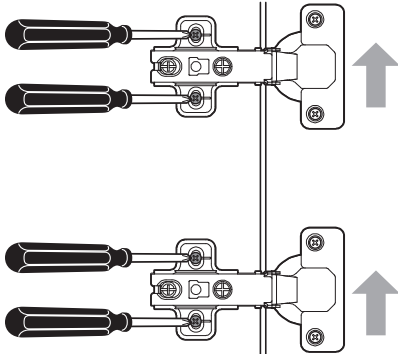
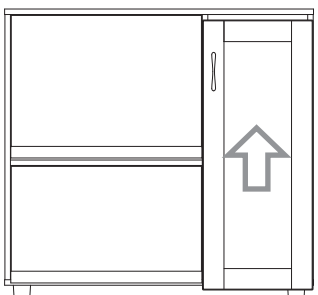
### ●扉が離れている



### 上下のヒンジパーツを調整する

- ① 前後ねじを緩める
  - ② 扉が近付くように、上下の内外ねじを少しずつ調整する
  - ③ 前後ねじを締める
- ※扉が閉まらない場合も同必要領で調整する

### ●扉が上にずれている



### 上下のヒンジパーツを調整する

- ① 上下ねじを緩める
  - ② 扉ごと動かし、高さをそろえる
  - ③ 上下ねじを締める
- ※下にずれている場合も同必要領で調整する